

MGC

2024年度 第1四半期
決算説明資料

 三菱ガス化学株式会社

2024年8月7日

証券コード

4182



1 | 2024年度 第1四半期 決算概要

2 | セグメント別 業績概要

3 | 業績予想

1 | 2024年度 第1四半期 決算概要

2 | セグメント別 業績概要

3 | 業績予想

2024年度 第1四半期 業績サマリー



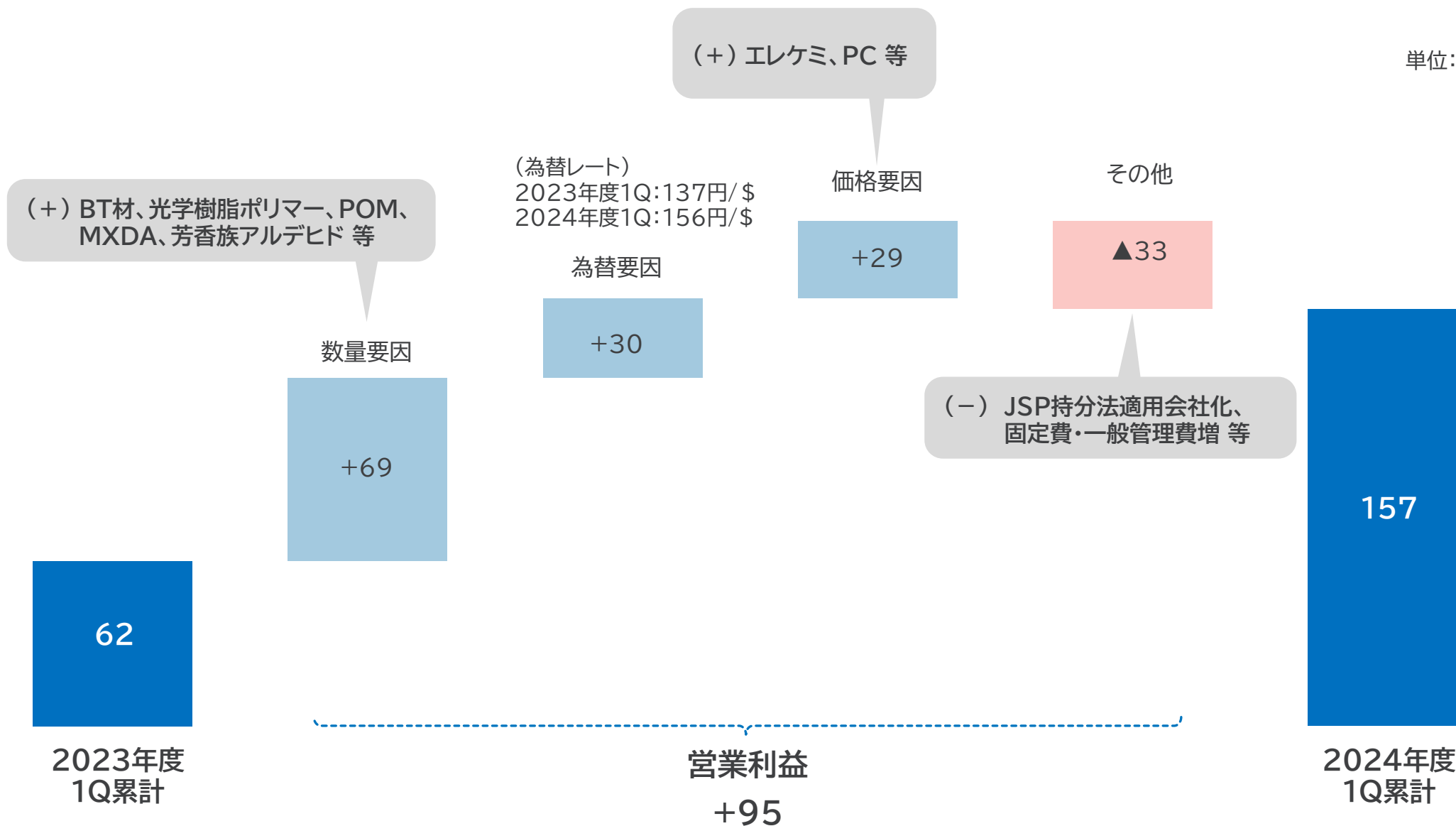
- 売上高: (株)JSP の持分法適用会社への異動などが減収要因も、円安や、光学樹脂ポリマー、電子材料などの販売数量増加等により増収
- 営業利益: 電子材料や無機化学品等の半導体関連製品、スマートフォン向け光学樹脂ポリマーの販売数量増加や、円安等により増益
- 経常利益: メタノール市況の上昇等により持分法損益が改善したことや、JSPの持分法適用会社化などから増益
- 四半期純利益: 三菱エンジニアリングプラスチックス(株)の連結化に伴う段階取得差益の剥落(約▲150億円)等により減益

単位:億円	2023年度 1Q	2024年度 1Q	増 減	
			金額	%
売上高	1,870	1,881	+11	+0.6
営業利益	62	157	+95	+153.3
持分法利益	▲6	12	+18	-
経常利益	70	179	+109	+155.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	198	117	▲81	▲40.9
一株当たり四半期純利益(円/株)	97.00	58.60		
為替レート(JPY/USD)	137	156		

(注) 本ページ以下に記載の数値は、金額表示は単位未満切り捨て、%表示・一株当たり指標・業績前提は単位未満四捨五入で表記しております。

2024年度 第1四半期 営業利益 増減要因(前年度比)

単位:億円



1 | 2024年度 第1四半期 決算概要

2 | セグメント別 業績概要

3 | 業績予想

2024年度1Q実績

売上高:

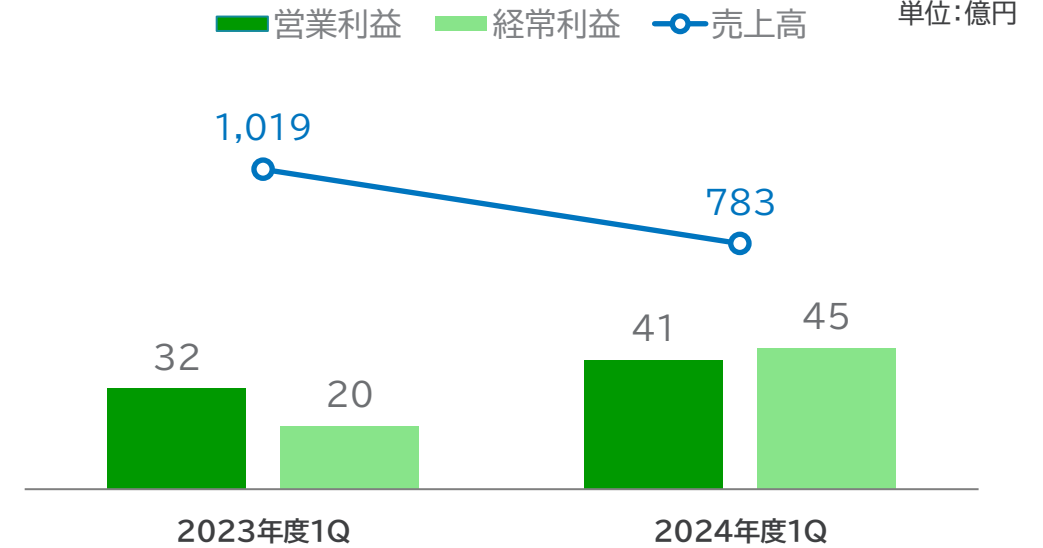
(株)JSPの連結子会社から持分法適用会社への異動により減収

営業利益:

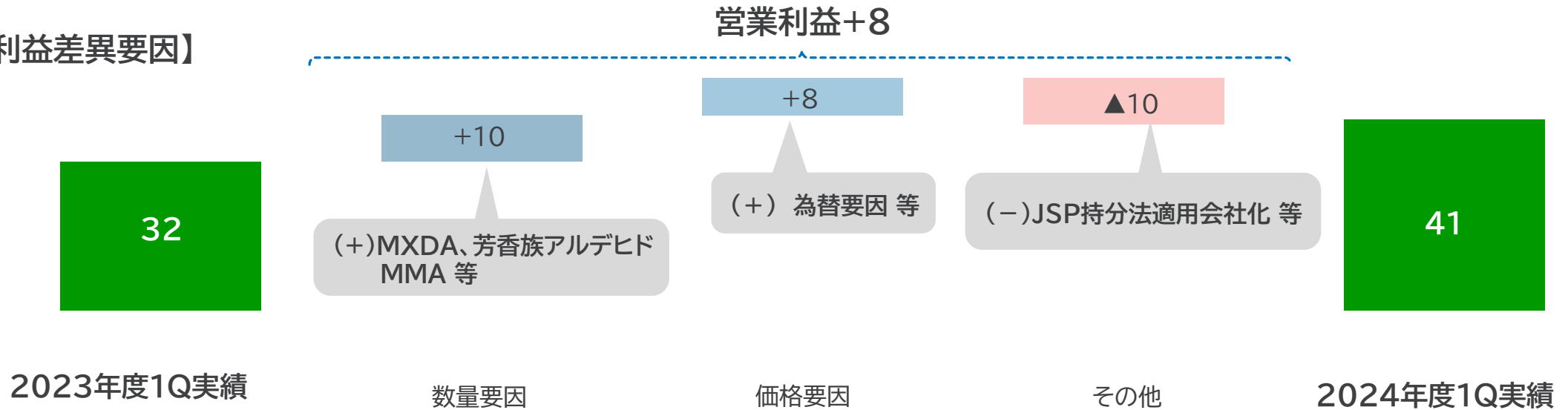
MXDAやMMA系製品の販売数量増加、円安などにより増益

持分法損益:

海外メタノール生産会社の持分法利益の改善やJSPの持分法適用会社化などにより増益



【営業利益差異要因】



単位:億円	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	増減
売上高	1,019	783	▲235
天然ガス系化学品	492	565	+73
芳香族化学品	535	220	▲314※1
調整	▲8	▲2	+5
営業利益	32	41	+8
天然ガス系化学品	18	27	+8
芳香族化学品	13	13	▲0
調整	▲0	0	+0
経常利益	20	45	+24
天然ガス系化学品	5	26	+21
芳香族化学品	15	17	+2
調整	▲0	0	+0

内訳は、主要製品群別セグメントを記載

※1 JSPの連結子会社から持分法適用会社への異動により減収

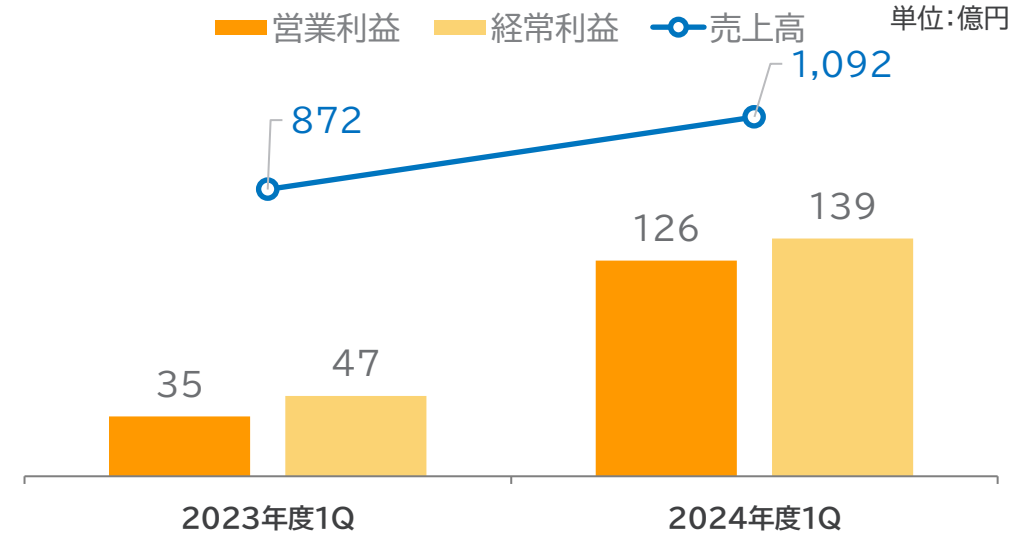
		2024年度1Q実績 (2023年度1Q実績比)	
天然ガス系化学品	メタノール		メタノール市況の上昇(前期308ドル/MT→今期337ドル/MT)や、円安などにより増収増益
	メタノール・アンモニア系化学品		MMA系製品の販売数量の回復、市況の上昇、円安などにより増収増益
	エネルギー資源・環境事業		発電用 LNG の販売数量増加などにより増収
芳香族化学品	MXDA・芳香族アルデヒド		欧米向けの需要が回復、円安などにより増収増益
	キシレン分離/誘導品		高純度イソフタル酸(PIA)の市況は低迷しているもの、円安などもあり増収増益

2024年度1Q実績

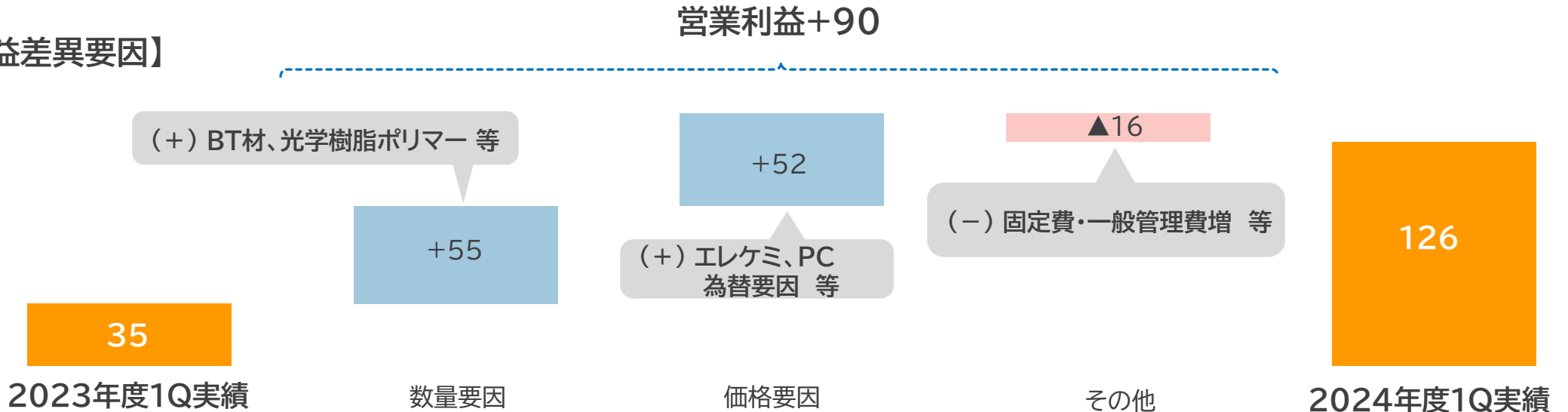
売上高、営業利益:

電子材料や無機化学品等の半導体関連製品、スマートフォン向け光学樹脂ポリマーの販売数量増加等や、円安などにより増収増益

※当期利益は三菱エンジニアリングプラスチックス社の連結化に伴う段階取得差益の剥落(約▲150億円)などにより減益



【営業利益差異要因】



単位: 億円	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	増減
売上高	872	1,092	+220
機能化学品	735	910	+174
特殊機能材	136	182	+45
調整	▲0	▲0	+0
営業利益	35	126	+90
機能化学品	16	84	+67
特殊機能材	18	41	+22
調整	0	0	+0
経常利益	47	139	+92
機能化学品	24	90	+65
特殊機能材	22	49	+26
調整	0	0	+0

内訳は、主要製品群別セグメントを記載

		2024年度1Q実績 (2023年度1Q実績比)	
機能化学品	無機化学品	➡	半導体向け薬液において、低迷していた半導体需要が回復基調にあることなどから増収増益
	エンジニアリングプラスチック	➡	販売数量の増加に加え、製造コストの改善等もあり増収増益
	光学材料	➡	スマートフォンにおけるカメラの高機能化トレンドや新興国向け需要の増加等により、光学樹脂ポリマーの販売数量が増加し、増収増益
特殊機能材	電子材料	➡	主力の半導体パッケージ用 BT 材料において、スマートフォン向けや PC 向けを始めとして需要が回復基調にあることなどから増収増益
	脱酸素剤	➡	円安による輸出価格改善や海外向け販売の増加により増収増益

1 | 2024年度 第1四半期 決算概要

2 | セグメント別 業績概要

3 | 業績予想

2024年度 業績予想



単位:億円	2024年度上期			2024年度下期			2024年度通期		
	前回予想	今回予想	差異	前回予想	今回予想	差異	前回予想	今回予想	差異
売上高	3,700	3,900	+200	4,100	4,000	▲100	7,800	7,900	+100
営業利益	260	280	+20	260	260	-	520	540	+20
持分法利益	51	57	+6	59	55	▲4	110	113	+2
経常利益	300	330	+30	290	290	-	590	620	+30
親会社株主に帰属する当期純利益	210	230	+20	250	250	-	460	480	+20

【2024年度上期】

前回予想比で、売上高+200億円、営業利益+20億円、経常利益+30億円

・国内エンプラ事業の円安によるコスト上昇のほか、BT 材料需要の回復が予想をやや下回って推移。一方でスマホ向け光学樹脂ポリマーや、高性能メモリ用途での半導体向け薬液の販売好調、円安などにより、売上高及び各段階利益は前回予想を上回る見通し

・売上高は、上記に加え、発電用 LNG の販売タイミングが下期から上期に前倒しとなったことも増収要因

※第2四半期の見通しは13ページ参照

【2024年度下期】

売上高は▲100億円(主に上述の発電用LNGの販売タイミング要因)

営業利益、経常利益、当期純利益は前回予想を据え置き(但し事業毎、セグメント毎の見直しは実施)

※下期業績予想のポイントは14ページ参照

2024年度 第2四半期の見通し(対第1四半期実績)



単位:億円	2024年度 1Q実績	2024年度 2Q予想	増 減	
			金額	%
売上高	1,881	2,018	+137	+7.3
営業利益	157	122	▲34	▲22.0
持分法利益	12	45	+33	+275.2
経常利益	179	150	▲29	▲16.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	117	112	▲4	▲4.0

【グリーン・エネルギー & ケミカル(GEC)】

- メタノール: 市況は345ドル/MTドルを予想(1Q 337ドル/MT)
- メタノール・アンモニア系化学品: 需要は1Q並みを想定。但し固定費の増加(定修)等により1Q比では減益の見込み
- MXDA・芳香族アルデヒド: 中国・欧州向け需要は徐々に回復基調にあり、販売数量増加を見込む

【機能化学品】

- 無機化学品: エレケミ(半導体向け薬液)の需要は回復基調が続くも、固定費の増加(定修)等により1Q比減益を予想
- エンプラ(PC・POM): 需要は緩やかに回復も、市況の軟化や輸送費の上昇等により1Q比減益を予想
- 光学樹脂ポリマー: 引き続き好調を見込むが、1Q比では販売はやや落ち着く見通し
- BT材: 需要は回復基調が続き、1Qを上回る見通し

【グリーン・エネルギー & ケミカル(GEC)】

- メタノール:市況は345ドル/MTを予想(上期予想 341ドル/MT)
- メタノール・アンモニア系化学品:需要の回復を想定するも、固定費の増加(定修)等を見込む
- MXDA、芳香族アルデヒド: 欧米向け需要は上期に引き続き回復を見込む
- エネルギー資源・環境:ヨウ素の販売は上期に引き続き堅調に推移する見通し
- 例年同様、第4四半期に水島工場での定修を予定

【機能化学品】

- 無機化学品: エレケミは、半導体向け薬液需要全般に需要の回復が続く見通し
- エンプラ(PC・POM) : 下期は定修等による固定費負担増加や、市況の軟化、輸送費の高止まり等が懸念される
- 光学樹脂ポリマー: スマホカメラの高機能化トレンド、スマホ新機種への作りこみ等を背景に、好調な販売が続く見通し
- BT材: スマホ向け高機能材料から汎用材料まで全般的な需要回復を想定し、一段の販売数量増加を見込む

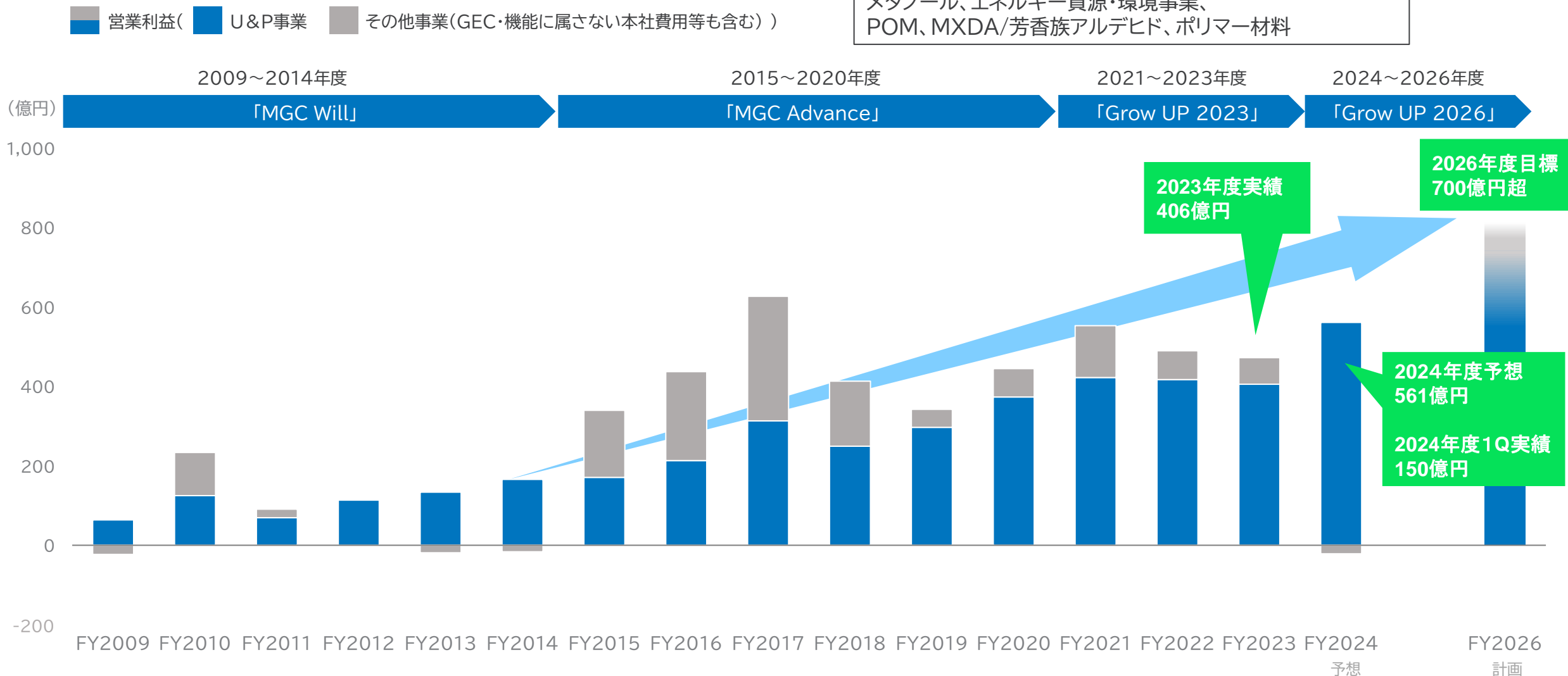
■為替前提(下期):1ドル150円(前回予想比5円の円安)、1ユーロ160円(前回予想比5円の円安)
為替感応度(USD、概算):1円の円高(円安)で、営業利益6億円/年、経常利益6億円/年の減益(増益)

■原油価格前提(下期) :80ドル/bbl.(前回予想と同じ)
原油感応度(USD、概算):1ドル/bbl.の上昇(下落)で、2.5億円/年の減益(増益)、メタノールへの影響は含まず)

Uniqueness & Presence(U&P)事業の営業利益推移

成長ドライバーであるICT3事業を中心に、現中計期間に再拡大

U&P事業: 中計「GrowUP2026」において経営資源を優先的に配分すべきと評価した以下の事業
 電子材料、無機化学品(エレケミ等)、光学材料、メタノール、エネルギー資源・環境事業、POM、MXDA/芳香族アルデヒド、ポリマー材料



Appendix

セグメント別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移



単位:億円	2023年度(実績)			2024年度(前回予想)*			2024年度(今回予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	3,996	4,137	8,134	3,700	4,100	7,800	3,900	4,000	7,900
GEC	2,094	2,034	4,128	1,552	1,709	3,261	1,679	1,617	3,297
機能化学品	1,941	2,150	4,092	2,061	2,300	4,361	2,163	2,305	4,469
全社/調整	▲39	▲47	▲86	86	90	177	56	77	133
営業利益	221	252	473	260	260	520	280	260	540
GEC	94	82	177	59	57	117	75	49	124
機能化学品	142	188	330	220	222	442	222	230	453
全社/調整	▲16	▲19	▲35	▲19	▲20	▲40	▲17	▲20	▲37
経常利益	249	210	460	300	290	590	330	290	620
GEC	74	26	101	104	94	199	114	87	201
機能化学品	178	207	386	216	216	433	233	223	456
全社/調整	▲4	▲23	▲27	▲21	▲21	▲43	▲18	▲20	▲38

セグメント別 2023年度及び2024年度 四半期別推移

単位:億円	2023年度				2024年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q(予)
売上高	1,870	2,126	2,220	1,916	1,881	2,018
GEC	1,019	1,074	1,155	878	783	895
機能化学品	872	1,069	1,087	1,062	1,092	1,070
全社/調整	▲21	▲17	▲22	▲24	4	52
営業利益	62	158	165	86	157	122
GEC	32	62	69	12	41	34
機能化学品	35	106	107	81	126	96
全社/調整	▲5	▲10	▲11	▲7	▲9	▲7
経常利益	70	179	184	26	179	150
GEC	20	54	90	▲63	45	69
機能化学品	47	131	114	93	139	93
全社/調整	2	▲6	▲20	▲3	▲5	▲13

参考:主要製品群別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移(※)



単位:億円	2023年度(実績)			2024年度(前回予想)*			2024年度(今回予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	3,996	4,137	8,134	3,700	4,100	7,800	3,900	4,000	7,900
天然ガス系化学品	975	1,180	2,155	1,125	1,222	2,347	1,238	1,145	2,383
芳香族化学品	1,133	872	2,006	431	491	922	445	476	922
機能化学品	1,648	1,803	3,452	1,695	1,888	3,583	1,799	1,894	3,694
特殊機能材	293	347	640	377	423	801	374	422	797
全社/調整	▲55	▲65	▲120	70	74	144	41	60	102
営業利益	221	252	473	260	260	520	280	260	540
天然ガス系化学品	41	44	85	35	31	66	46	28	75
芳香族化学品	53	37	91	24	25	50	28	20	49
機能化学品	88	105	194	119	119	238	131	116	248
特殊機能材	53	83	136	100	103	204	90	113	204
全社/調整	▲16	▲18	▲35	▲19	▲20	▲40	▲17	▲19	▲37
経常利益	249	210	460	300	290	590	330	290	620
天然ガス系化学品	18	▲18	0	66	65	131	72	62	134
芳香族化学品	56	44	101	38	29	67	42	24	67
機能化学品	116	118	234	112	108	221	131	105	236
特殊機能材	61	89	151	104	108	212	101	117	219
全社/調整	▲4	▲23	▲28	▲21	▲21	▲43	▲18	▲20	▲38

※主要製品群別セグメント(便宜的に過去のセグメントに準じて算出した参考値となります)

*2024年5月10日公表

参考:主要製品群別 2023年度及び2024年度 四半期別推移(※)

単位:億円	2023年度				2024年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q(予)
売上高	1,870	2,126	2,220	1,916	1,881	2,018
天然ガス系化学品	492	483	545	634	565	672
芳香族化学品	535	598	619	253	220	224
機能化学品	735	913	912	890	910	889
特殊機能材	136	156	175	171	182	192
全社/調整	▲29	▲25	▲31	▲34	1	39
営業利益	62	158	165	86	157	122
天然ガス系化学品	18	22	16	28	27	18
芳香族化学品	13	39	53	▲15	13	15
機能化学品	16	72	63	41	84	47
特殊機能材	18	34	43	39	41	49
全社/調整	▲6	▲10	▲11	▲7	▲9	▲8
経常利益	70	179	184	26	179	150
天然ガス系化学品	5	12	33	▲51	26	45
芳香族化学品	15	41	57	▲12	17	24
機能化学品	24	92	65	52	90	41
特殊機能材	22	39	48	41	49	52
全社/調整	2	▲6	▲20	▲3	▲4	▲13

※主要製品群別セグメント(便宜的に過去のセグメントに準じて算出した参考値となります)

2024年度 第1四半期 貸借対照表



単位:億円	2024年3月末	2024年6月末	増 減
流動資産	4,631	4,650	+18
現預金	714	659	▲54
売掛債権	1,656	1,693	+37
棚卸資産	2,005	2,058	+53
その他	255	238	▲16
固定資産	6,048	6,283	+234
有形固定資産	3,146	3,306	+159
無形固定資産	248	252	+3
投資その他の資産	2,653	2,724	+70
資産合計	10,680	10,933	+253

単位:億円	2024年3月末	2024年6月末	増 減
負債	3,831	3,900	+68
買掛債務	1,090	1,104	+14
有利子負債	1,730	1,812	+82
その他	1,011	983	▲28
純資産	6,848	7,033	+184
株主資本	5,876	5,908	+32
その他包括利益累計額	701	829	+128
非支配株主持分	270	294	+24
負債・純資産合計	10,680	10,933	+253

参考：各種指標（1）

単位:億円	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(予)
設備投資額 [1Q]	402 [87]	547 [115]	646 [153]	817 [183]	940 [177]
減価償却費 [1Q]	306 [75]	319 [78]	335 [79]	363 [91]	350 [82]
研究開発費 [1Q]	199 [47]	210 [49]	235 [55]	256 [62]	285 [62]
年度末人員(人)	8,998	9,888	10,050	7,918	8,241
EBITDA*1	817	1,070	1,050	849	967
U&P事業 営業利益	374	423	418	406	561
ROA(総資産経常利益率) (%)	6.2	8.4	7.1	4.4	5.7
ROE(自己資本当期利益率) (%)	7.1	8.8	8.3	6.1	7.2
ROIC(投下資本利益率)*2 (%)	6.2	7.4	6.4	3.3	6.6
売上高営業利益率 (%)	7.5	7.8	6.3	5.8	6.8
一株当たり当期純利益 (円/株)	173.41	232.15	239.08	190.97	239.69
一株当たり配当金 (円/株) [うち中間配当]	70.00 [35.00]	80.00*3 [45.00*3]	80.00 [40.00]	80.00 [40.00]	90.00 [45.00]
総還元性向 (%)	40.4	34.5	47.9	67.5	37.5

*1 EBITDA=経常利益+減価償却費+支払利息

*2 ROIC=(営業利益-法人税等+持分法損益)/投下資本

*3 記念配当10円を含む

参考：各種指標（2）

	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度(予)	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期予想	下期予想
為替(JPY/USD)	107	105	110	115	134	137	141	148	153	150
為替(JPY/EUR)	121	126	131	130	139	143	153	160	164	160
原油価格(Dubai) (USD/bbl.)	37	52	69	87	102	83	82	82	83	80
メタノール (USD/MT) アジアスポット平均価格	194	319	370	428	375	351	297	324	341	345
原料キシレン(USD/MT)	420	560	780	875	1,105	925	960	910	930	880
ビスフェノールA (USD/MT)*	900 ~1,450	1,400 ~3,300	2,750 ~3,700	2,100 ~3,150	1,450 ~2,200	1,250 ~1,700	1,150 ~1,400	1,250 ~1,350	1,250 ~1,350	1,250 ~1,350
ポリカーボネート (USD/MT)*	1,500 ~2,150	2,100 ~4,000	3,100 ~4,050	2,650 ~3,650	1,950 ~2,900	1,800 ~2,200	1,650 ~1,900	1,700 ~1,900	1,800 ~1,900	1,800 ~1,900

*期間中の最小値および最大値を記載

感応度(概算)

為替(USD) : 1円の円高(円安)で、営業利益6億円/年、経常利益6億円/年の減益(増益)

為替(EUR) : 1円の円高(円安)で、営業利益1億円/年、経常利益1億円/年の減益(増益)

原油(Dubai) : \$1/bbl.の上昇(下落)で、2.5億円/年の減益(増益)、メタノールへの影響は含まず

メタノール : メタノール市況 \$1/MTの上昇(下落)で、持分法利益1億円/年の増益(減益)

報告セグメント	主要製品群	主要製品
グリーン・エネルギー &ケミカル (旧基礎化学品)	天然ガス系化学品	<ul style="list-style-type: none"> ・メタノール ・メタノール/アンモニア系化学品(アンモニア・アミン類、MMA系製品、ホルマリン・ポリオール系製品、等) ・エネルギー資源・環境事業
	芳香族化学品	<ul style="list-style-type: none"> ・MXDA、芳香族アルデヒド、ポリマー材料(MXナイロン等) ・キシレン分離/誘導品(メタキシレン、高純度イソフタル酸(PIA)等)
機能化学品	機能化学品	<ul style="list-style-type: none"> ・無機化学品(エレクトロニクスケミカルズ(超純過酸化水素、ハイブリッドケミカル)、過酸化水素等) ・エンジニアリングプラスチック(ポリカーボネート/シートフィルム、ポリアセタール等) ・光学材料(光学樹脂ポリマー、超高屈折レンズモノマー等)
	特殊機能材	<ul style="list-style-type: none"> ・電子材料(半導体パッケージ用BT材料等) ・脱酸素剤(エージレス®等)

見直しに関する注意事項

当資料に記載されている計画、目標等の将来に関する記述は、作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものであり、不確実性を内包するものです。実際の業績等は、様々な要因によりこうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社
CSR・IR部 IRグループ

TEL 03-3283-5041

URL <https://www.mgc.co.jp/>



IRメール配信サービス

適時開示やIRに関する最新情報について、メールでお知らせいたします。ぜひご登録ください。

